

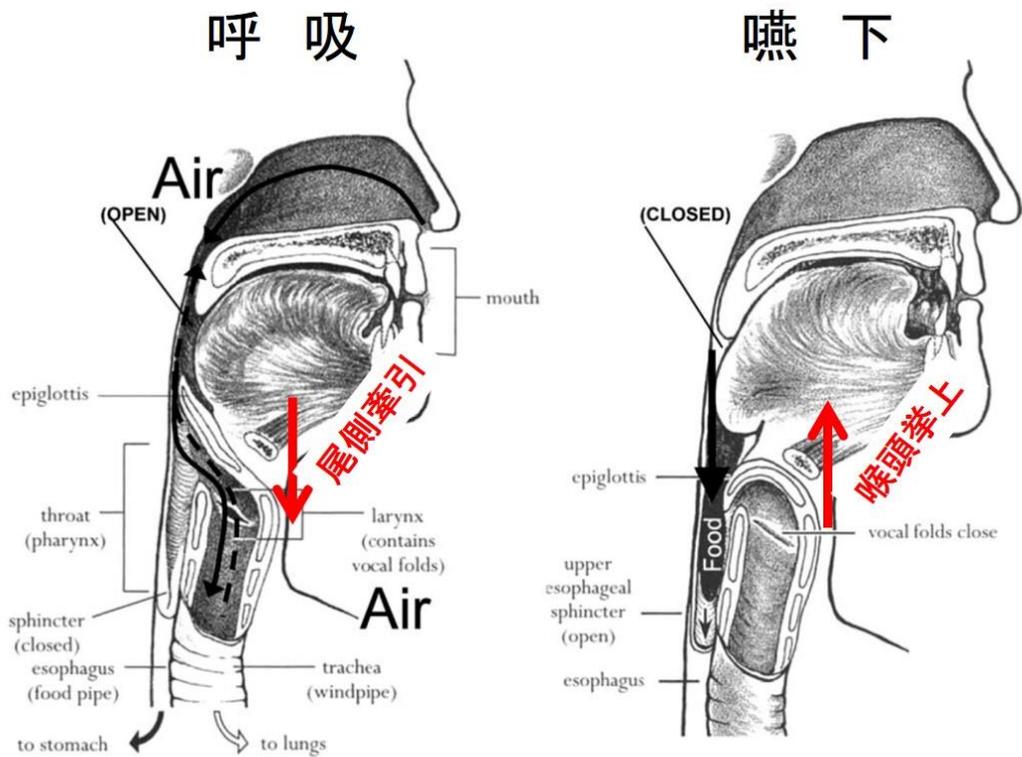
## > 誤嚥 と 無呼吸 <

2022 年 12 月

2022 年 3 月、睡眠学の世界的トップジャーナル「SLEEP」に異例の速さで論文が掲載されました。その論文は、睡眠時無呼吸症候群の患者に睡眠中の嚥下障害や誤嚥が生じやすいことを発見、睡眠時無呼吸の積極的治療が誤嚥による肺炎の予防となる可能性を示しました。著者の河野茜先生は千葉大学医学部で医学博士を取得後、日本歯科大学で歯学博士も取得して、現在は新潟市のこの歯科医院の副院長を勤めながら新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野で誤嚥性肺炎の発症のメカニズムを研究しております。

以前に「SLEEP」に掲載された先生の論文では、全身麻酔下のヒトで肺容量が舌骨や喉頭の位置を変化させることを示し、それを発展させたのが今回の論文です。この一連の研究のエッセンスは、睡眠時無呼吸症候群も睡眠時の嚥下障害や誤嚥も舌骨や喉頭が尾側に移動してしまうことで引き起こされるといえます。この発見で新たな診断法や治療法を提案できるかもしれません。

河野 茜先生の診察は、この歯科、こばやし内科、新潟大学病院口腔リハビリテーション科で受けることができます。



From J.Robbins (2011):改変